

平成19年 7月 30日

各位

上場会社名	ダイニック株式会社
コード番号	3551 (東証一部)
本店所在地	京都市右京区西京極大門町 26 番地
東京 本社	東京都港区芝大門 1-3-4 (ダイニックビル)
問合せ先	開発技術センター長 羽田 章
	TEL 03-5402-3137

ジャパングオアテックス株式会社に対し特許侵害訴訟を提起

ダイニック株式会社 (社長・細田敏夫) は、ジャパングオアテックス株式会社に対し、ダイニック株式会社が保有する特許権 (特許第3885150号) を侵害するものとして、「ゴアテックス デシカントシート」の製造、販売の差止め、並びに損害賠償を求め、7月24日、東京地方裁判所に提訴いたしました。

ダイニック株式会社はこれまでジャパングオアテックス株式会社と交渉を重ねてまいりましたが、やむなく今回提訴に踏み切ったものです。

本特許は主に有機EL素子[※]に使用される電子デバイス用吸湿材料に関する発明です。

また、本特許権に関連して対応する特許が日本以外にも、アメリカ、韓国、台湾においても成立しております。

ダイニック株式会社は、今回の訴訟のような法的手段も含め、今後とも知的財産の確保と活用を積極的に進めてまいります。

以上

※ 有機EL素子は、電圧をかけると発光する有機物質を利用した発光素子で、自発光型、低電圧で高い輝度が得られること、応答速度の速さ、高い視認性等の特徴があります。この特徴を生かして液晶、プラズマディスプレイに続く次世代ディスプレイとして注目されており、携帯電話やMP3プレーヤー等に数多く使用されており、市場調査会社の報告によれば2006年の有機ELパネルの出荷台数は7200万台になったと言われております。

有機EL素子は、素子内に水分が存在するとダークスポットやシュリンケージと言われる発光不良が発生することから、素子内への水分の侵入を防ぐための封止技術が重要な工程になりますが、併せて素子内の水分を除去するために水分除去材が使われております。本特許は、吸湿性能を損なうことなく水分除去材をシート化することによって、素子内への装着を容易に出来るようにしたものです。